

第25回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会

# 災害とソーシャルワーク実践

2011年10月22日(土) 10:00~17:00

・・・基調講演・・・ 10:00~11:45

「被災地での心のケアをめぐる～専門家の役割とは～」

講師：飯田敏晴（国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター 臨床心理士）

\*基調講演のみの参加も受け付けます（基調講演オープン参加）。

## ・・・研修会ご案内・・・

3月11日の東日本大震災の大きな被害から、私たちは、このような災害は首都圏でも全く他人事ではないという認識を与られました。

本研修会では、今回の震災後の支援に実際に関わられた専門職の方々の体験を踏まえて、災害時必要とされるソーシャルワーク実践について、一緒に考えを深めていきたいと思えます。

実際に被災者を受け入れたご経験のある現場の方も含めて、多くの方のご参加をお待ちしております。



<基調講演講師：飯田敏晴(いいたとしはる)先生のプロフィール>  
臨床心理士。専門は、臨床心理学、コミュニティ心理学。特に、HIV/AIDSに関するスティグマ低減や予防啓発に関わる研究を実施している。  
明治学院大学文学部卒業後、同大学大学院心理学研究科に進学。  
福祉作業所、総合病院、クリニック、保健所デイケア、大学非常勤講師等を経て、現職。

## ・・・ワークショップ・・・13:00~17:00

### ワークショップA:

#### 「障害者雇用の現場から～緊急時の安心・安全を考える～」

講師：長谷川雅之（株式会社博報堂DYアイ・オー チーフ）

コーディネーター：八木原律子（明治学院大学教授）

3.11東日本大震災の当日、都心で起きた地震は仕事中の私たちをパニックに陥れました。本ワークショップの講師である長谷川氏の会社も、そこで働く障害のある人を含めた従業員の安全確保に尽力されたことは言うまでもありません。また、当日から翌日にかけて安全確認、そして今後に向けた管理運営上のマネジメントなど、多くの学びから課題も見えてきたといえます。

ワークショップAでは、こうした緊急時の対応に向けた日ごろの管理について、参加者のみなさんのグループ討議を中心に障害のある方々の安全確保というソーシャルワークの視点で、地震当日に学んだことを情報共有しつつ、ネットワークの在り方や緊急事態に備えた事前対策などについて、一緒に考えていきたいと思っております。

入居・通所の福祉施設の職員、企業のジョブコーチなど幅広い方々の参加をお待ちしております。

### ワークショップB:

#### 「避難所における支援～支援の展開と課題～」

講師：東京社会福祉士会災害対策本部

コーディネーター：深谷美枝（明治学院大学教授）

大震災の後、現地では数多くの避難所が設けられ、仮設住宅への入居が進む中、多くの方々が今尚避難所での長期に渡る不自由な生活を余儀なくされています。首都圏各地にも避難所が設けられ、支援が展開されてきましたが、被災者の特徴や年齢層も様々で、そこには多くの生活課題が見られ多様な支援が必要とされたことと推察されます。

ワークショップBでは、現地に足を運ぶと共に赤坂プリンスホテル(元)等での支援を展開された東京社会福祉士会災害対策本部の方々をお招きし、社会福祉士の活動や相談ブースでの報告をしていただきながら、避難所におけるソーシャルワーク専門職の支援について一緒に考えていきたいと思えます。

高齢、障碍、児童、地域等様々な福祉分野に関わる方々の参加をお待ちしております。

ワークショップC:

## 「被災者の心にどのように向き合うか

### ～サイコロジカル・ファーストエイド～

講師：飯田敏晴（国立国際医療研究センター

エイズ治療・研究開発センター 臨床心理士）

コーディネーター：明石留美子（明治学院大学准教授）

私たちは、被災した、または被害に遭われた人々の心にどのようにして向き合えばよいのでしょうか。ワークショップCでは、宮城県東松島市で支援活動に従事している講師を招き、被災地での経験を伺います。

当日は、心理的緊急支援の国際的な手引であり、アメリカ国立子どもトラウマティックストレス・ネットワークとアメリカ国立PTSDセンターが開発した「サイコロジカル・ファーストエイド（PFA）」についても学んでいきます。PFAは、精神保健担当者をはじめ、様々な分野の災害救援者が、災害やテロに直面した子ども、思春期の人々、大人、家族の初期反応に早期介入する方法を提供するものです。日本語版をインターネットでダウンロードできますので（兵庫県こころのケアセンター<http://www.j-hits.org/psychological/index.html>）、予習いただくことをお勧めします。

### ・・・開催要項・・・

(1)開催日時 2011年10月22日(土)

①基調講演 10:00～11:45 ②ワークショップ 13:00～17:00

(2)会場 明治学院大学白金キャンパス（東京都港区白金台1-2-37）

### (3)対象と定員

対象は、原則として、現在社会福祉の諸領域にて実践活動を行っている方です。

ワークショップの定員は、各20名です。研修会定員は計60名です(先着順)。

基調講演オープン参加は、関心のある方なら、どなたでも参加できます。

研修会定員とは別に、定員50名先着順にて受け付けます。

### (4)参加費

・研修会(基調講演とワークショップ):3,000円

申込受付後、振込用紙を送付しますので、必ず事前にお振り込みください。

参加費振込後の返金には応じられませんのでご了承ください。

・基調講演オープン参加:1,000円 当日受付にてお支払いください(申込要)。

### (5)申込方法

・研修会:参加希望のワークショップを1つ選び、申込用紙の所定事項を記入しFAX・

Eメールで申込先へお送りください。折り返し振込用紙を送りますので、参加費を入金

してください。参加費入金確認後、受講票を送りますので、余裕をもってご入金ください。

参加費入金確認をもって申込となります。定員になり次第締め切ります。

振込控えが領収証となります。改めての領収証発行はできませんのでご了承ください。

・基調講演オープン参加:TEL・FAX・Eメールで、申込先へお申し込みください。

# 2011年度 第25回社会福祉実践家のための臨床理論・技術研修会 申込書

■氏名(フリガナ)		■明治学院大学卒業生の場合 (西暦) 年度 卒業	
■所属先			
■所属先における職名		■社会福祉実践家としての経験年数 年	
■資格(おもちの資格に○をつけるか、おもちの資格名を、その他( )にご記入ください) 社会福祉士 精神保健福祉士 介護支援専門員 介護福祉士 保育士 その他( )			
■所属先住所 〒			
TEL	FAX	Eメール	
■自宅住所 〒			
TEL	FAX	Eメール	
◆参加希望のワークショップ → A B C (必ず○を付けてください)			
◆振込用紙・受講票・報告書の発送先 → 所属先 自宅 (どちらか選択してください)			

## <明治学院大学

### 白金キャンパスへのアクセス>

東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線  
「白金台駅」「白金高輪駅」、都営地下鉄  
浅草線「高輪台駅」より徒歩約7分

JR・京浜急行「品川駅」高輪口下車、  
都バス「目黒駅」行で「明治学院前」下車

JR・東急「目黒駅」東口(ロータリー側)下車、都バス「大井競  
馬場」行で「明治学院前」下車

### <詳細・申込先>

## 明治学院大学社会学部附属研究所

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Eメール [issw@soc.meijigakuin.ac.jp](mailto:issw@soc.meijigakuin.ac.jp)

FAX 03-5421-5205

TEL 03-5421-5204・5205

